

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ばんびくらぶ（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年 3月
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		一人ひとりの特性や状況に応じて、個室や中庭を活用しながら、過ごし方の工夫を図っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		その時々の様子や状況に応じて、職員配置を行っています。	個々の状況等に応じた職員配置や対応の工夫を都度考えていく必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		スロープや手すりの設置がされ、バリアフリー化をしています。個室を活用し、クールダウンや課題(宿題)を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		支援前後の清掃、消毒、整理整頓に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		希望を聞きながら、安心して過ごせる部屋や空間を提案しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々、職員間での打ち合わせや振り返りを行っています。	今後、OODAループの考え方も取り入れながら、事業所職員の参画を促します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向け評価表を保護者に配布し、意見等をうかがっています。職員間で結果を共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の打ち合わせや振り返りにて、情報共有・意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者委員の設置をしています。	外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修、法人内研修への参加機会の確保に努めています。職員間で回覧、伝達研修を行っています。	外部研修、法人内研修への参加を積極的に行います。伝達研修を行い、職員間で共通理解を図ります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	支援プログラムの定期的な見直しを行い、都度更新します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		職員間での情報共有、保護者との面談を通して、共通理解を図り、計画作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		事業所職員での会議の場を設け、情報共有、意見交換を行い、共通理解に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員間で共有し、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			フォーマルなアセスメントツールの使用について、検討が必要です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		支援プログラムを基に、それぞれの項目について支援内容を設定しています。	移行支援、地域支援に関して、関係機関との連携強化に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		事業所職員で活動内容の検討を行い、主担当、他の役割分担を行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		週単位での活動計画を行い、季節感やこどもたちの希望を取り入れられるよう意識し、工夫を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別の取り組みや、集団活動（コミュニケーション）を組み合わせ、メリハリのある過ごし方を工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前に打ち合わせを行い、共通理解につなげ、必要な準備を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		翌日に振り返りを行い、情報共有しています。 職員共有ノートを活用しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		その日の様子や、家庭・学校からの共有事項を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6ヶ月に1回を基本とし、職員間での共有、保護者との面談を通して、評価を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		基本活動を意識しながら、複数組み合わせ展開しています。	外出活動を取り入れていますが、地域交流に関して検討が必要です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自由時間や活動参加において、自己選択・自己決定の場を意識的に設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参加し、事業所職員への共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			学校や学童等関係機関との情報共有の機会の確保に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者との連絡・確認が主ですが、必要に応じて学校と情報共有(下校時間等)を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		相談支援事業所や児童発達支援事業所との情報共有に努めています。	保育園等との情報共有の機会の確保に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		放課後等デイサービスから放課後等デイサービスへの移行時、必要に応じて情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2			必要に応じて、助言や研修を受ける機会の確保に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	外出時、公園や施設等で交流する場合があります。	外出活動を積極的に取り入れます。 地域交流に関して検討する必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	法人代表が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		お迎え時や面談の場にて、保護者と共有しています。必要に応じて、連絡帳やLINE等のツールを活用しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			保護者の要望を聞きながら、交流会など保護者向けの取り組みを検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用契約の場にて、書面を提示しながら、説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談の機会を設け、意向をうかがっています。	日頃から、こどもの様子やこどもからの発信を職員間で共有し、意思・意向の把握に努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		面談にて、支援内容について共有し、意向をうかがっています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者より相談・要望をうかがった際には、職員間で共有しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3		保護者の要望を聞きながら、交流会など保護者向けの取り組みを検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者より相談・要望をうかがった際には、職員間で共有し、対応についての検討を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		日々の様子(写真)や活動予定、お知らせなどをおたよりに掲載し、発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		必要に応じて、保護者に都度確認しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚支援等を活用し、対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	ボランティア、実習生の受け入れを行っています。	引き続き、ボランティアや実習生の受け入れを行います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		避難訓練の計画・実施、研修への参加を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練の計画・実施、振り返りを行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者から情報提供していただき、必要に応じて都度確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者から情報提供していただき、提供菓子の二重確認、食後の清掃を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			確認・見直しを定期的に行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			必要に応じて、取り組みについての周知を都度行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット報告書の作成、職員間での共有、対応検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部研修、法人内研修へ参加し、必要に応じて伝達研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在、対象者はいません。	想定される事案に対しては、法人としての検討が必要です。	